



大阪市立大学「人工光合成研究拠点」 2017年度 第4回講演会開催

2018年2月23日(金)に人工光合成研究拠点第4回講演会が触媒学会生体関連触媒研究会共催のもと開催されました。今回の講演では2名の先生方を講師としてお招きしました。昨年に引き続き、人工光合成研究拠点の公募型共同研究に採択されている京都大学大学院人間・環境学研究科吉田寿雄教授・山本旭助教に最近の成果を講演していただきました。

まず山本旭助教から XAFS 分光法を用いた担持白金ナノ粒子触媒上の吸着水素種の定量に関する研究成果の紹介がありました。



京都大学山本旭助教

続いて、吉田寿雄教授から光触媒による合成反応に関するホットな研究成果が紹介されました。光触媒と言えば水を分解して水素を得る、二酸化炭素の還元、環境浄化等が思い浮かびますが、今回の講演では有機合成反応に光触媒を適用する新たな手法が示されました。当日は席が不足するくらいの参加者があり、和やかというより鋭い議論が展開されました。



京都大学吉田寿雄教授



大阪市立大学「人工光合成研究拠点」 2017年度 第5回講演会開催

2018年03月15日(木)に人工光合成研究拠点第5回講演会が触媒学会生体関連触媒研究会共催のもと開催されました。今回は初めて海外、台湾国立大学・Kevin Chia-Wen WU 教授を講師としてお迎えし、Functional Nanoporous Materials for Energy Applications と題した最新の研究成果が紹介されました。また日本側からは新進気鋭の大阪市立大学田部博康 特任助教による多孔性蛋白質結晶に金属錯体を複合化した固体触媒に関するホットな話題の紹介がありました。

2017年度のニュースレターは本号が最終号です。1年間ご支援ありがとうございました。2018年度も引き続きご支援よろしくお願いたします。

人工光合成研究拠点では、当研究センターに関するお知らせや講演会開催の案内など、最新情報をホームページやFacebookに掲載しています。是非チェックしてください。

人工光合成研究拠点 ニュースレター
 第2巻・第11号平成30年3月28日発行
 発行責任者: 天尾 豊(大阪市立大学人工光合成研究センター所長)
 編集責任者: 吉田朋子(同副所長)
<http://recap.osaka-cu.ac.jp/ap-coe/index.html>